

2. 貿易政策 [図表P. 194①◎]

- ☆7 ^{たわらもの}俵物 や銅の輸出奨励、金・銀の輸入促進 (ついに輸入に転じた!!)
- 8 いりこ ・ ほしあわび ・ ふかひれ

3. 開発政策

- ①下総国9 ^{いんばぬま}印旛沼 ・ ^{てがぬま}手賀沼 の干拓計画 [図表P. 194①◎]

②蝦夷地開発計画

仙台藩医10 ^{くどうへいすけ}工藤平助 が幕府に献じた『11 ^{あかえぞふうせつこう}赤蝦夷風説考』の中で蝦夷地開発と北方(ロシア)交易の必要性を提起 [図表P. 196④◎]

→1785年、12 ^{もがみとくない}最上徳内 らを調査に派遣 (田沼失脚により中断) [図表P. 201③]

- ★13 ^{てんめい}天明 の大飢饉(1782年～)、14 ^{あさまやま}浅間山 の大噴火(1783年) [図表P. 194②]、
田沼の子・^{おきとも}意知の暗殺(1784年)を経て、^{ひめん}將軍家治死去後の1786年、田沼は老中を罷免された。

[図表P. 194②◎]

★田沼政治への風刺

「この上はなほ田沼るる度毎にめつたとりこむ主殿家来も」

「年号は安く永しと替れども諸色高直いまに明和九」

「金取りて田沼るる身のにくさゆへ命捨ててもさのみ惜しまん」

【江戸の三大飢饉】(自分で確認しよう!)

- *15 ^{きょうほう}享保 の大飢饉(1732年)…イナゴ・ウンカの大発生と長雨。西日本に被害。
- *16 ^{てんめい}天明 の大飢饉(1782～87年)…浅間山の噴火と冷害。東北地方に大被害。
- *17 ^{てんぽう}天保 の大飢饉(1832～39年)…洪水と冷害。全国で被害。

◇ 仙台藩医工藤平助は『赤蝦夷風説考』を著してロシアとの交易や蝦夷地の開拓を提言しました。工藤平助と親交のあった仙台藩士 ^{ほやししへい}林子平 (No. 14で登場) は『赤蝦夷風説考』を参考に、日本の海防政策についての提言を行った『海国兵談』を著します。幕府の鎖国政策と異なる提言を行った工藤平助の意見を田沼意次は採用して蝦夷地に調査団を送りましたが、海防政策の充実を提案した『海国兵談』を知った 松平定信は、『海国兵談』を絶版とし、林子平は謹慎を命じられました。幕府の人間でもないものが幕府の政策に口を挟んだ、というのが処罰の理由でした。提案の内容が違うとはいうものの、これもまた田沼と松平の政治姿勢の違いを表すものかもしれません。

◇ 浅間山の噴火は天明の飢饉の象徴であり、田沼政権末期を象徴する出来事のように扱われるので、関連づけて抑えておきましょう。ちなみに、入試問題を解く際、時期を確定するヒントになるのが浅間山の噴火と 富士山の噴火です。富士山が噴火して降灰被害をもたらしたのはいつか覚えていませんか? 「ずばり、○代將軍の時!」と自信を持って答えられない人は 図表 P. 175で確認しておきましょう。なお、図表 P. 15には浅間山の噴火の際に避難が間に合わず土石流に巻き込まれて亡くなった女性二人の遺体が発掘された様子が載せられています。この二人は観音堂にのぼる50段の階段をのぼりかけたところで間に合わずに巻き込まれてしまったようです。現在観音堂の階段は15段しかありません。その下35段分が土石流で埋まってしまったのです。

もう少し知りたい人は 噴火 鎌原村 で検索してみましょう。

分散自主登校でアンケートをとって見たところ、このホームページの「ガイド」と「確認」を必ずしもすべての人が丁寧に見ているわけではないようです。なので、見落としている人のために今一度「NHK高校講座/日本史」を紹介しておきます。一度習ったところを確認するのが私のおすすめなので、イメージづくりの意味も込めて見るのもよいかもしれません。1回30分で、すでに第22回までの学習がすすんでいます(休業中自主学习を含めて)。